

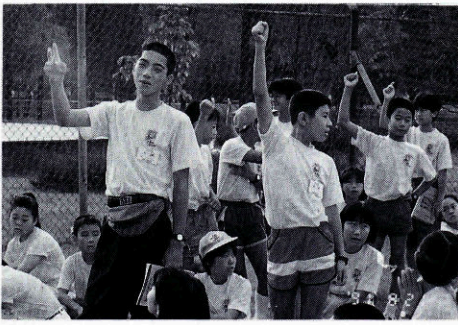
少年の船

大平小学校六年 山片 覚

ぼくは、初めて韓国へ行きました。初めての外国旅行なので、少し不安でしたが、韓国の人たちはとてもよい人ばかりで、とてもよい思い出ができました。

韓国の町のようなすは、日本とちがうところもたくさんあります。道の真ん中を、平気で自転車走らせています。車がとても多く、朝と夕方はすぐにじゅうたいになります。信号はあまりありません。警察の人たちが所々にいます。車が多いのに事故の少ない事にびっくりしました。

五日間の中で、一番楽しか



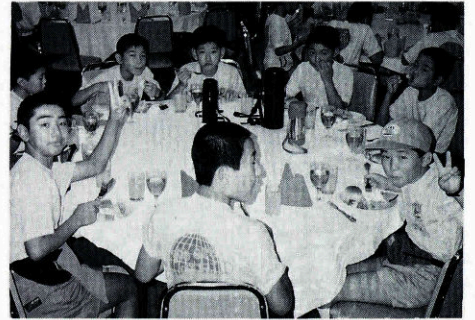
った事は、ロッテワールドで遊んだ事です。その中でもジェットコースターがとてもおもしろかったです。こわかったけど、いろいろな所に入ったりして、みんな笑っていました。

シンドバットのぼうけんも楽しかったです。いろいろな物が出てきました。水をかぶった人もいました。もっと長くないなと思いました。

さよならパーティーも印象に残りました。劇や歌やダンスがあつて、とてもおもしろかったです。

ぼくたちは、かえるの合唱とチューリップのかえ歌です。楽しくできました。二班の人が男子同士でキスをしたので、みんな大笑いをしました。審査をしている間みんな、ダンスをしました。ぼくの班の田中君が一人でメロリンキューをおどりました。みんなに大うけで、個人優勝をしました。時間があつたという間にすぎ、とてもつかれたので、その日は着がえずに寝てしまいました。

ぼくは、出発するまでは船



や飛行機に乗ること、食事のことなど心配なことがあります。

日韓友好少年の船

伊上小学校六年 三井 浩一

八月十八日、下関港発の関釜フェリーに乗った。初めての海外研修なのでとてもうれしかった。出航時間になると、一斉にテープを投げた。ぼくが投げたテープはお母さんの所へ行った。船が進み始めた。家族の人の手をふる姿が見えなくなった。班の人と一緒に船に入った。船の中で自己紹介があつた。ぼくは七班で十九人だった。油谷町の人、ぼくを入れて三人いた。

韓国は、朝と夕方の通勤ラ

したが、この旅行で韓国の人たちと友達になれたし、韓国のことも少し分かったし、すばらしい体験をしました。言葉がちがっても、生活の習慣がちがっても、人間どうし仲よくしていけるんだと思いました。

お世話して下さった人たちにとても感謝しています。思い出深い夏休みをありがとうございました。



ツシユで交通が不便だった。

国連墓地は、国連が管理する世界で唯一の墓地だそうです。そして、国民学校は日本とちがつて木のいすと机だった。

慶尚南道庁を訪問した。韓国の友だちと交流会もした。言葉は通じなかったけど手ぶりで身ぶりで話した。釜山からソウルへセマウル号に乗って行った。韓国では、セマウル号が、日本の新幹線にあたる列車だそう。

自由の橋は、朝鮮戦争が休



戦になった時、一万三千人のほりよがこの橋を渡って自由の身になったのに由来して呼んだそう。

ブリンピックススタジアムは、出入口が五十二ヶ所あり、十万人が十五分間で退場できるという。

ロッテワールドは、乗物・映画・ショー・劇場・ゲーム・スポーツがあり、大きなドームに包まれていた。

韓国の人は、とてもやさしかった。交流会をした友だちの会話はむづかしかった。しかし手ぶり身ぶりで言葉が通じると分かったのは、TYS少年の船にえらばれたからだと思う。とてもいい体験ができた。